

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 6 年 12 月 23 日(2024.12.23)

【公開番号】特開 2024-156682(P2024-156682A)

【公開日】令和 6 年 11 月 6 日(2024.11.6)

【年通号数】公開公報(特許)2024-207

【出願番号】特願 2024-110688(P2024-110688)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00(2006.01)

10

A 6 1 P 37/04(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

A 6 1 K 9/107(2006.01)

A 6 1 K 39/39(2006.01)

A 6 1 K 47/26(2006.01)

A 6 1 K 45/00(2006.01)

A 6 1 K 38/19(2006.01)

A 6 1 K 31/4745(2006.01)

A 6 1 K 35/15(2015.01)

20

A 6 1 K 39/08(2006.01)

C 0 7 K 14/715(2006.01)

C 0 7 K 14/705(2006.01)

C 0 7 K 14/47(2006.01)

C 1 2 N 15/12(2006.01)

C 0 7 K 7/06(2006.01)

C 0 7 K 7/08(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H Z N A

A 6 1 P 37/04

30

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 38/19

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 K 35/15

A 6 1 K 39/08

40

C 0 7 K 14/715

C 0 7 K 14/705

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 15/12

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 7/08

A 6 1 K 39/00 H

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 12 日(2024.12.12)

50

## 【手続補正１】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

それを必要とする対象における脳腫瘍を治療するための医薬組成物であって：

(i) 配列番号１～４から選択されるアミノ酸配列を有するIL-13R ２ペプチド、配列番号５のアミノ酸配列を有するEphA2ペプチド、配列番号９のアミノ酸配列を有するスルビピン・ペプチド、及び配列番号１０のアミノ酸配列を有する破傷風トキソイド・ペプチドを含む医薬組成物であって、該組成物は乳化物として製剤化される、前記医薬組成物；及び

(ii) 一種以上のＴ細胞受容体モジュレーター、を含み；

該医薬組成物は、配列番号７からなるペプチドを含まず、かつ配列番号７からなるペプチドと同時に投与されるようには用いられず；かつ

該医薬組成物は、ベパシズマブと同時に投与されるように用いられる、前記医薬組成物。

【請求項２】

前記医薬組成物が、モンタニドISA-51によって乳化される、請求項１記載の医薬組成物。

【請求項３】

前記医薬組成物が、前記対象に対して皮下に投与され、かつ前記一種以上のＴ細胞受容体モジュレーターが、前記対象に対して静脈内、皮下、又は筋肉内に投与されるように用いられる、請求項１又は２記載の医薬組成物。

【請求項４】

前記一種以上のＴ細胞受容体モジュレーターが、Ｔ細胞受容体、Ｔ細胞受容体のリガンド、又はその断片に免疫特異的に結合する、ペプチド、ポリペプチド、タンパク質、融合タンパク質、及び/又は抗体から選択される、請求項１～３のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項５】

前記一種以上のＴ細胞受容体モジュレーターが、抗CD4抗体、抗CD3抗体、抗CD5抗体、抗CD7抗体、抗CD8抗体、抗CD40リガンドモノクローナル抗体、抗CD52抗体、抗CD2抗体、抗CD11a抗体、抗B7抗体、CTLA4-免疫グロブリン、LFA-3TIP、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項１～４のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項６】

前記対象が寛解期にあり、再発状態にあり、かつ/又は失敗に終わった少なくとも一つの従前の治療を経験している、請求項１～５のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項７】

前記医薬組成物が、少なくとも一種の追加の癌治療と同時に投与されるように用いられる、請求項１～６のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項８】

前記少なくとも一種の追加の癌治療が、放射線治療、化学療法、又は手術である、請求項７記載の医薬組成物。

【請求項９】

前記IL-13R ２ペプチドが、配列番号３を含む、請求項１～８のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項１０】

前記医薬組成物が、一種以上の追加の免疫調節薬と同時に投与されるように用いられる、請求項１～９のいずれか一項記載の医薬組成物。

10

20

30

40

50

## 【請求項 1 1】

前記一種以上の追加の免疫調節薬が、核酸分子、トール様受容体(TLR)アゴニスト、及び/又は対象の免疫応答をTh1又はTh2応答の方に偏らせる免疫応答修飾物質から選択される、請求項10記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 2】

前記TLRアゴニストが、TLR3アゴニストである、請求項11記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 3】

前記脳腫瘍が、神経膠腫、星状細胞腫、膠芽細胞腫、乏突起膠腫、脳幹神経膠腫、上衣腫、又は二種以上の神経膠細胞型を含む混合腫瘍である、請求項1～12のいずれか一項記載の医薬組成物。

10

## 【請求項 1 4】

前記脳腫瘍が、聴神経鞘種、頭蓋咽頭種、髄膜腫、又は髄芽種である、請求項1～12のいずれか一項記載の医薬組成物。

20

30

40

50